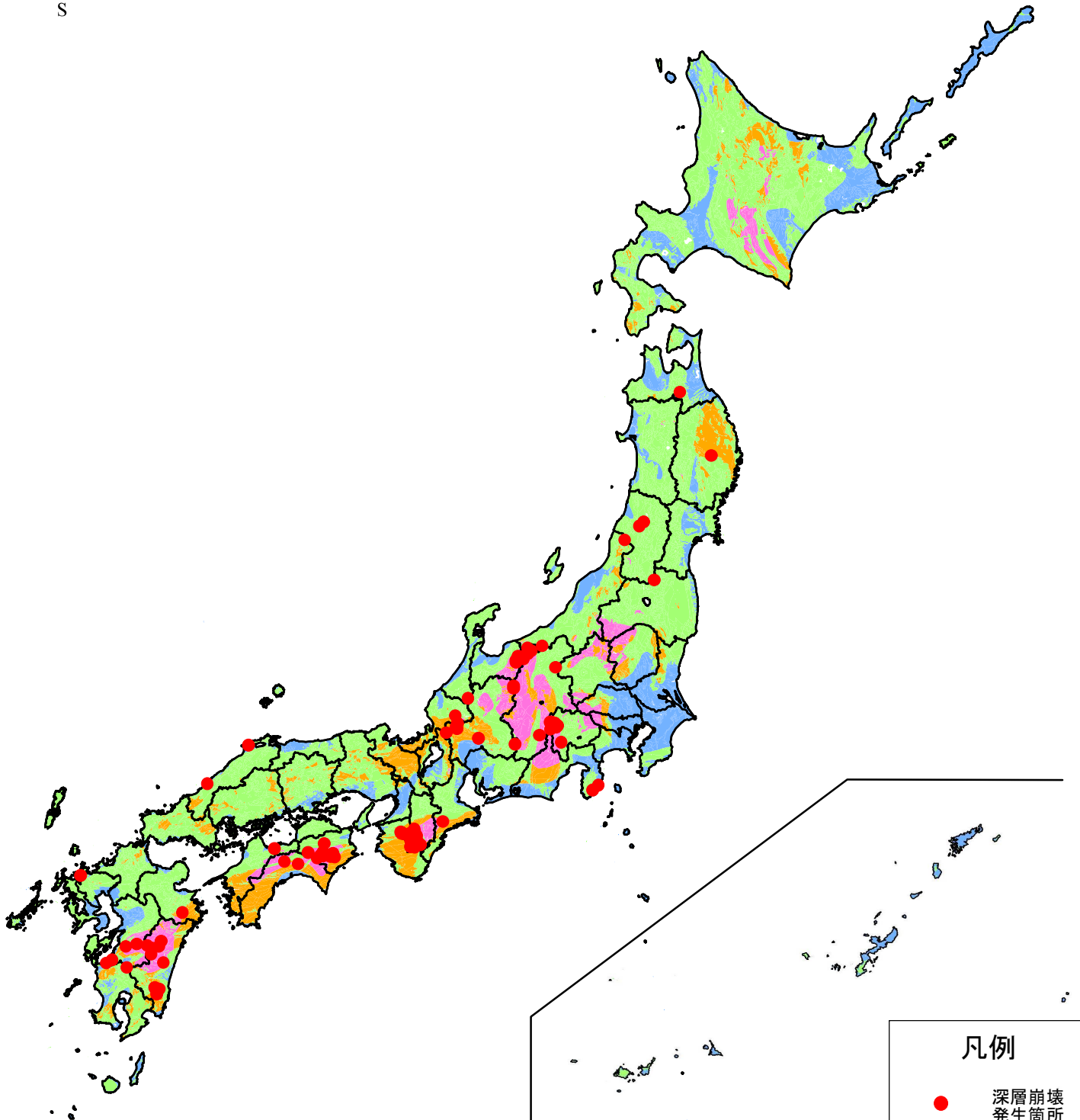




# 深層崩壊推定頻度マップ



※注釈

1. 全国の深層崩壊の事例を収集し、過去深層崩壊が多く起こっている地質及び地形(隆起量)の範囲を図化したものである。
2. 深層崩壊の収集にあたっては、明治時代以降に豪雨または融雪により発生したもののうち、比較的規模の大きいもの、精度の良い記録が残っているものを対象とした。
3. 用いた地質図は独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター発行の「日本地質図第3版CD-ROM 第2版」(縮尺100万分の1)である。
4. 用いた隆起量図は、第四紀地殻変動研究グループ(1968)作成の「集成隆起沈降量図」(縮尺200万分の1)である。
5. 用いた資料の精度から、市町村単位等の細かい単位で表示できる精度を有していない。
6. 深層崩壊の事例収集は現在も継続中であり、事例が追加された結果、図が示す範囲が変更される可能性がある。

凡例	
<span style="color: red;">●</span>	深層崩壊発生箇所
<span style="background-color: pink; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	特に高い
<span style="background-color: orange; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	高い
<span style="background-color: lightgreen; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	低い
<span style="background-color: lightblue; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	特に低い

